

2024年4月および2023年9月入学
東京工業大学大学院 修士課程 入学試験

工学院 システム制御系

誓約書および補足調査票の記入について

1. 試験区分

- 工学院システム制御系では、A日程（口述試験）とB日程（筆答試験および口頭試問）の試験区分2種を設けています。
- A日程受験資格者は出願書類によって決定します。A日程試験が不合格となった受験者はB日程試験を受験することができます。

2. 誓約書と補足調査票

- 受験者は、かならず今年度分の**誓約書と補足調査票**を下記URLよりダウンロードし、必要事項を記入の上、指示に従って提出してください。それぞれ**A日程用とB日程用があります**のでご注意ください。
<https://educ.titech.ac.jp/sc/admissions/>
- 補足調査票には、卒業研究の内容またはそれに準じたものを記載してください。それらを行っていない志願者については、これまでに学士課程で身に付けた専門分野とその内容について記載してください。
- **誓約書と補足調査票は、A日程口述試験受験資格者あるいはB日程筆答試験・口頭試問受験資格者となった方に、別途それぞれ提出方法・提出期日をお知らせします。事前にご準備いただき、出願後の指示に従って提出してください。**

3. 志望指導教員の入力・指定について

- 出願において、志望指導教員の欄には第10志望まで入力できます。必ずしも全ての枠を埋める必要はありませんが、**後から追加することはできません。**
- A日程受験資格者は、出願時に入力した志望指導教員のなかからA日程試験において志望する指導教員を限定することができます。具体的には、**補足調査票（A日程用）**における「2. 志望指導教員について」の欄において、出願時に入力した志望指導教員のうち上位の何位までを志望するか、指定することができます。
- 同様に**補足調査票（A日程用）**において、出願時に入力した志望指導教員以外の指導教員であってもA日程合格を希望するか、出願時に入力した志望指導教員以外の場合にはB日程での受験を行うか、選択することができます。

- B日程受験者は、出願時に入力した志望指導教員以外の指導教員であっても入学を希望するか、出願時に入力した志望指導教員以外の場合は入学を辞退するか、選択することができます。具体的には、**補足調査票（B日程用）**における「2. 志望指導教員について」の欄において指定します。
- 補足調査票（A日程用・B日程用ともに）の「2. 志望指導教員について」の欄における選択肢に指定がない場合もしくは判読ができない場合、選択肢「ア」を選んだものとして取り扱います。

以上